

外国にルーツを持つ子どもの現状

きょういく

学校内でのサポート機会が少ない

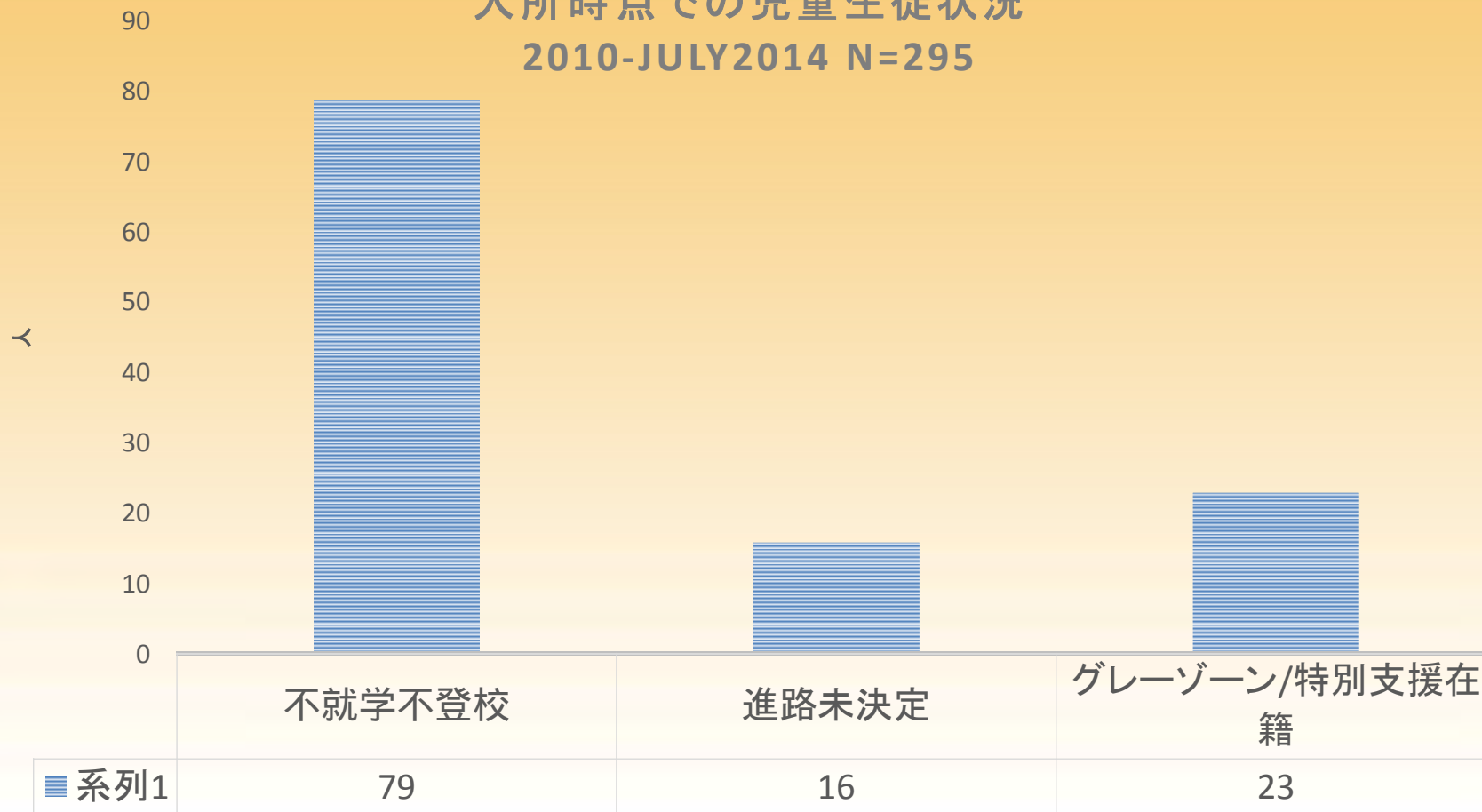
学習についていけない

いじめ、不登校

進学機会が小さい、中退率が高い



入所時点での児童生徒状況 2010-JULY2014 N=295



● 高校進学率

外国人の教育達成（国内居住5年以上）

国籍	就学率	高校進学率
韓国朝鮮	99.8%	93.0%
中国	99.4%	85.7%
フィリピン	98.1%	59.7%
ブラジル	98.1%	42.2%
米国	94.3%	87.7%
英国	99.5%	98.1%
(参考)日本	-	97.0%

注1：就学率を求めるに当たっては、義務教育年齢にあるものの数を分母として、その内、通学する者（民族学校含む）を分子とした。

注2：高校進学率を求めるに当たっては、15～18歳人口の内、義務教育を終えた者を分母として、高校、あるいは短大・高専に通うものを分子とした。

出典：「日本における外国人の定住化についての社会階層による分析」是川夕、2012.2、
ESRI Discussion Paper Series No.283 P11より引用

外国籍生徒間における高校進学率は国籍による格差が見られる

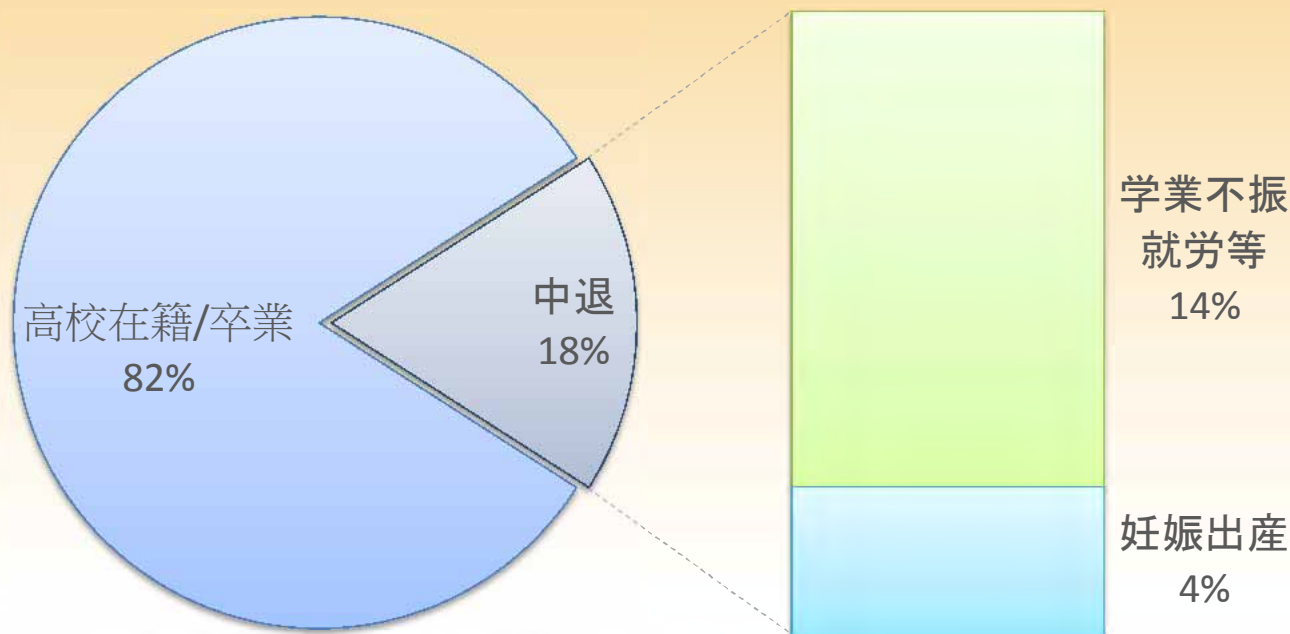
➤ 高校入試に特別な配慮がない場合、漢字圏の生徒や
私立高校進学を選択肢がある欧米圏の生徒が優位

中途退学率

?? ? %

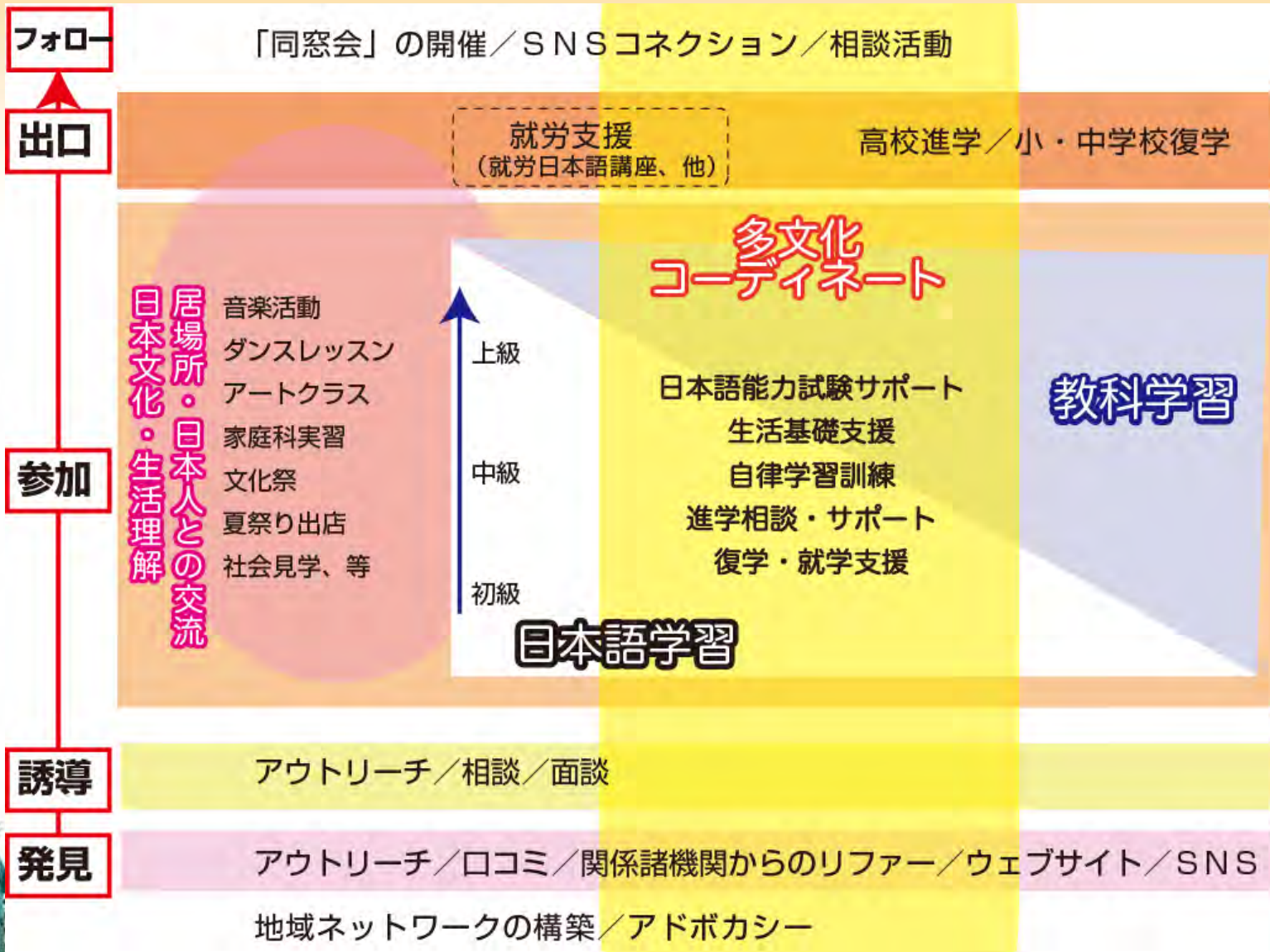
(外国籍生徒の退学率を知る
データは見当たらない)

「卒業生」予後
2010-july2014, n=95



高校入学後、日本語の壁から学習についていけなかったり、アルバイトに夢中になって通学をやめてしまうケース、妊娠が発覚し退学したケースが現場では見られる
➤ 現在では正確な中退率や中退後の過ごし方を知る手掛かりはなく、具体的な調査実施が望まれる

青少年自立援助センターにおける 外国にルーツを持つ子ども支援体制



外国にルーツを持つ子ども達の現状

かてい／せいかつ

日本への定
住・永住志
向

外国人シン
グルマザー

経済的に困
窮している
家庭が多い

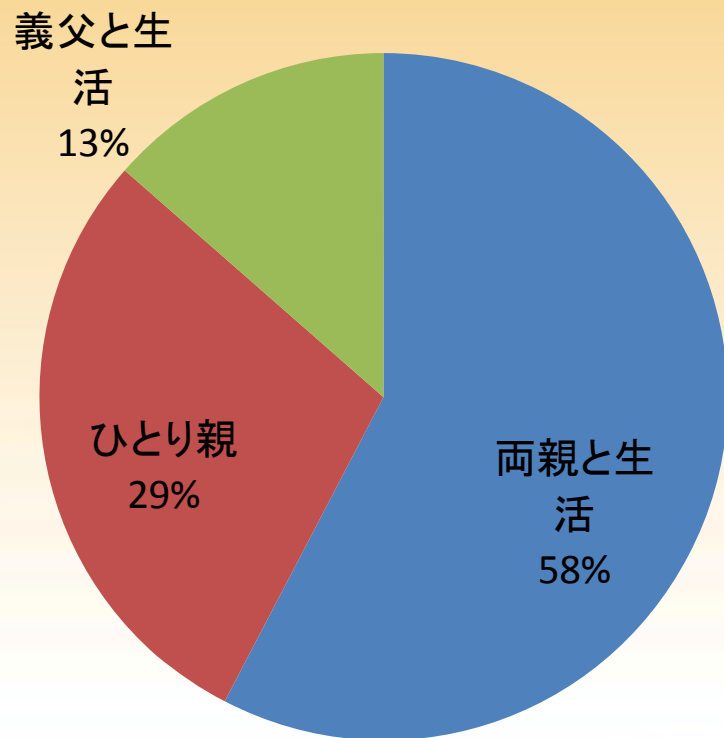
親が夜勤／
兄弟が「子
育て」をして
いるケース

基本的な生
活習慣／食
事に乱れが
見られる
ケース

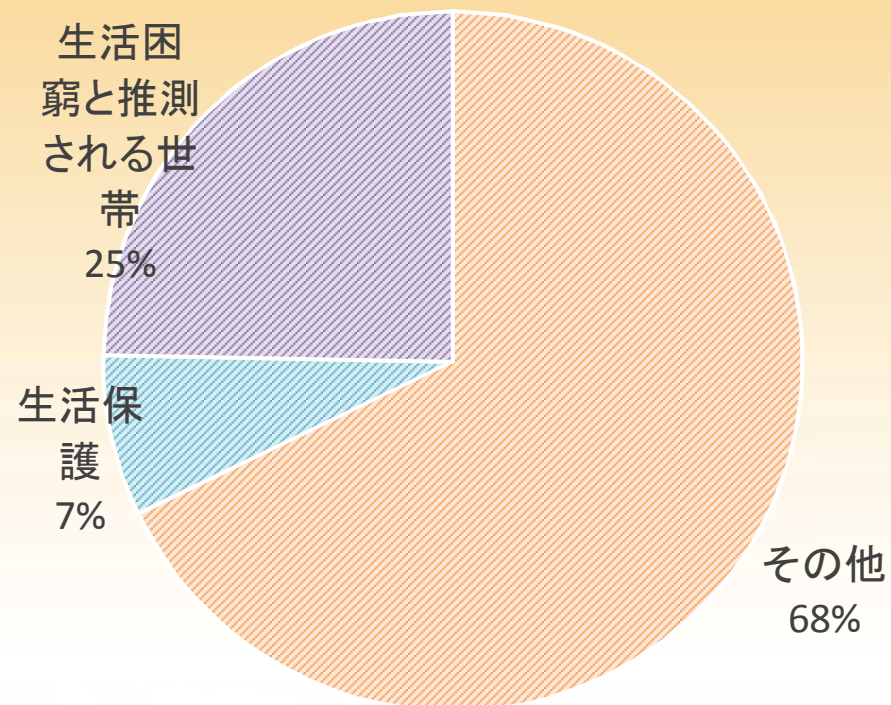


教室在籍児童生徒家庭状況

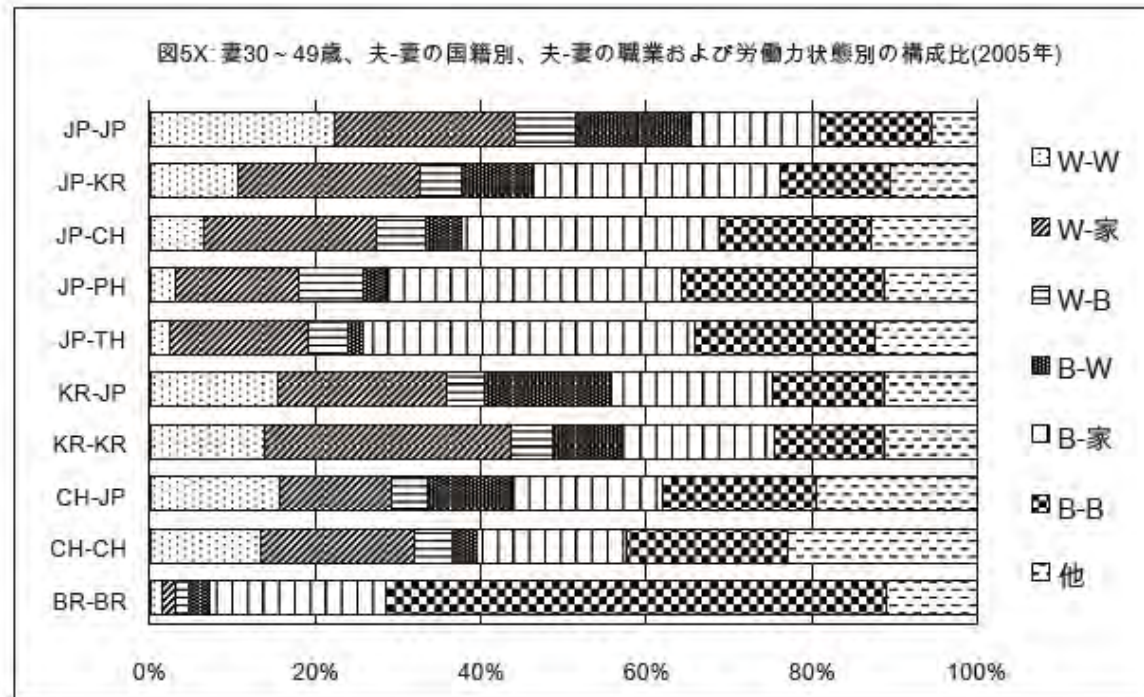
在籍生徒保護者状況
2010-July2014,n=295



在籍生徒経済状況
2010-JULY2014,N=295



外国にルーツを持つ子どもの保護者 就業状況



出典:「2005年国勢調査に見る外国人の教育」、岡山大学大学院社会文化科学研究科紀要第35号(2013.3)p70より引用。

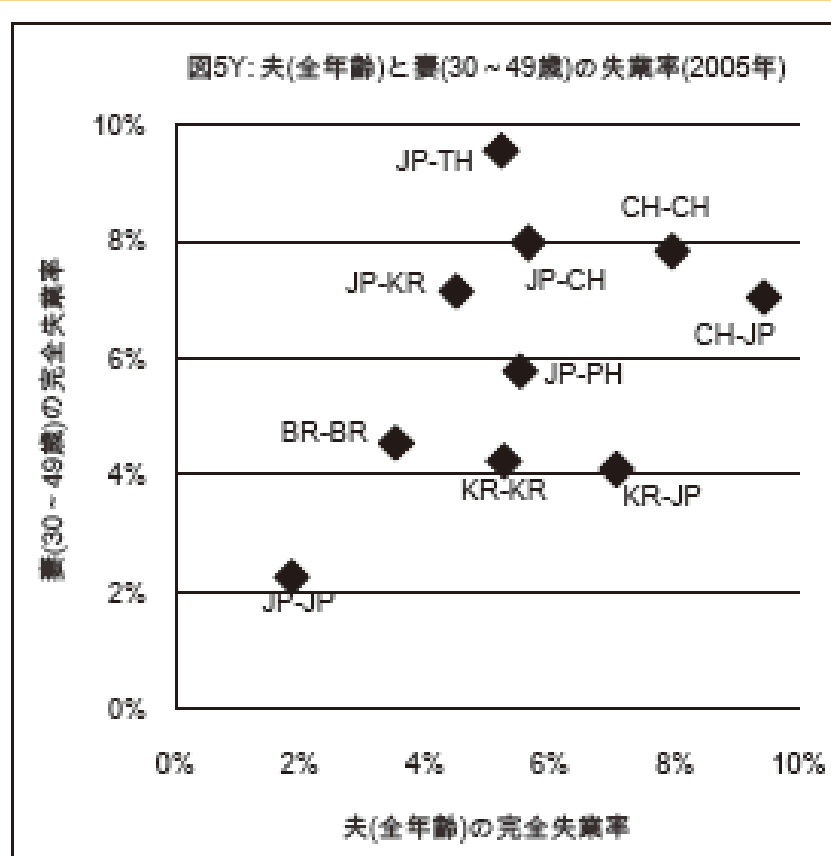
* JP=日本、BR=ブラジル、CH=中国、PE=ペルー、KR=韓国・朝鮮、PH=フィリピン、TH=タイ、OT=その他の国籍を表す。

* 図左系列アルファベット—アルファベットの組み合わせは左側=夫の国籍—右側=妻の国籍を表す。(例:JP-PH=日本人夫—フィリピン人妻)

* 図右系列アルファベット—アルファベットの組み合わせは、左側=夫の職業(W=ホワイトカラー、B=ブルーカラー、家=家事)を表し、右側は妻の職業を表す。(例:W-家=夫・ホワイトカラー—妻・家事)

外国にルーツを持つ子どもの内、東南アジア出身の母親と日本人の父親を持つ子どもの半数以上は、父親がブルーカラーであり、なおかつ母親が専業主婦またはブルーカラーであるような家庭に育つ。
東アジア、日本人両親の場合ホワイトカラー就業率は高まる。

● 完全失業率

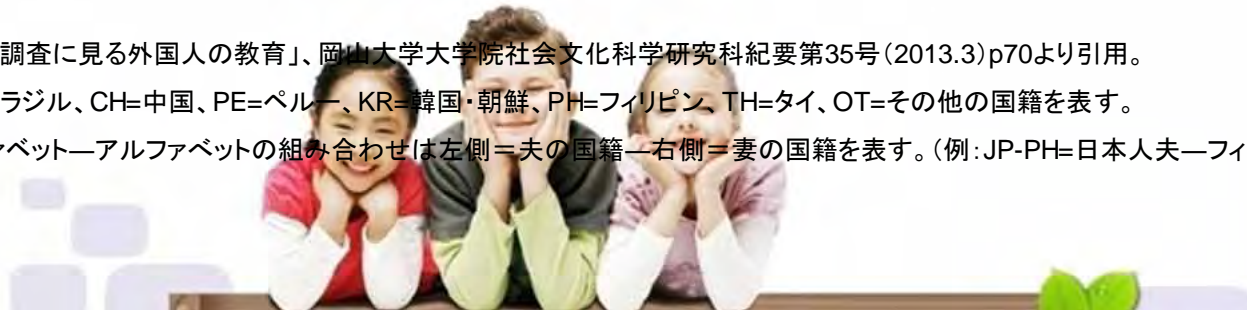


最も完全失業率が高い組み合わせは日本人夫とタイ人妻であり、次いで、日本人夫と中国人妻の家庭である。逆に、両親とも日本人の場合の完全失業率が最も低く、韓国・朝鮮籍が続く。

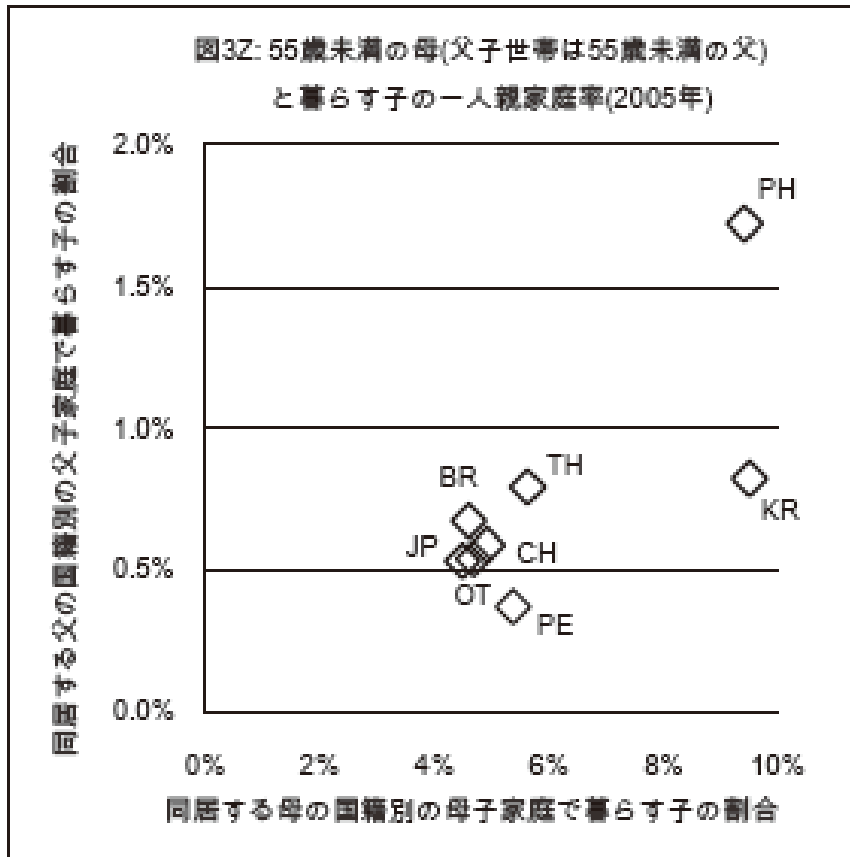
出典:「2005年国勢調査に見る外国人の教育」、岡山大学大学院社会文化科学研究科紀要第35号(2013.3)p70より引用。

* JP=日本、BR=ブラジル、CH=中国、PE=ペルー、KR=韓国・朝鮮、PH=フィリピン、TH=タイ、OT=その他の国籍を表す。

* 図左系列アルファベット—アルファベットの組み合わせは左側=夫の国籍—右側=妻の国籍を表す。(例:JP-PH=日本人夫—フィリピン人妻)



・ひとり親家庭



『外国人母子世帯失業率』

外国人世帯の母親の失業率はフィリピン10.7%、タイ13.2%、ブラジル3.7%、ペルー11.4%、中国10.8%、韓国・朝鮮14.5%、その他9.6%で平均8.7%。

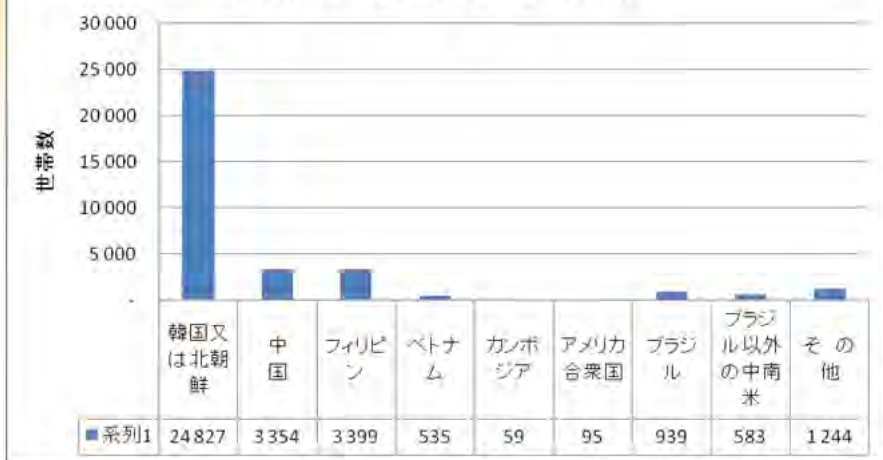
一方、子どもの年齢別に母親の失業率を見ると、0歳～4歳の子どもを養育するフィリピン人シングルマザーの失業率は16.9%、タイでは18.2%などと、総じて高い。(日本人では平均8.6%、0～4歳養育の場合11.4%)

出典:「2005年国勢調査に見る外国人の教育」、岡山大学大学院社会文化科学研究科紀要第35号(2013.3)p65より。
JP=日本、BR=ブラジル、CH=中国、PE=ペルー、KR=韓国・朝鮮、PH=フィリピン、TH=タイ、OT=その他の国籍を表す。

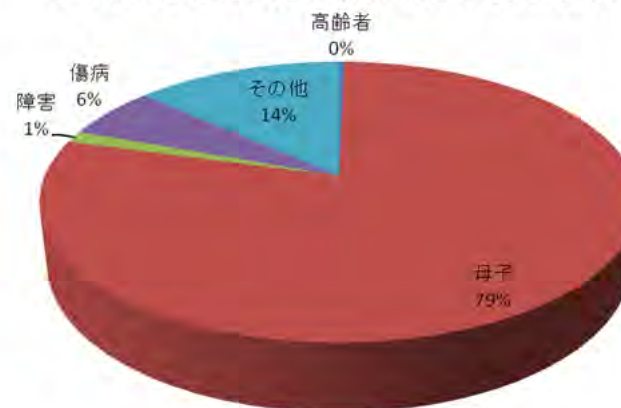
フィリピン人母を持つ子どもの母子世帯率は1995年と2000年には2%未満。
2005年時点では9.4%へ急増している。

● 生活保護

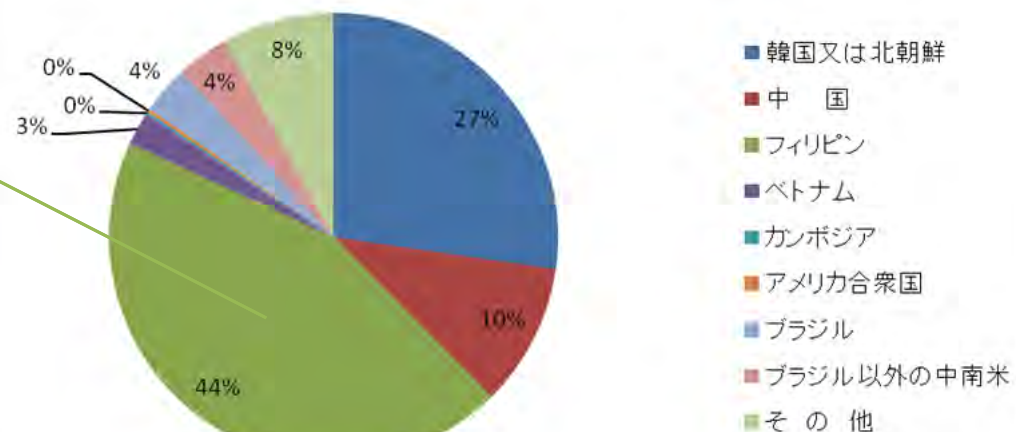
国籍別生活保護受給世帯数



フィリピン人生活保護受給世帯の内訳



国籍別生活保護受給母子世帯



外国人生活保護受給母子世帯はフィリピンが最多。

生活保護受給世帯内訳でも母子世帯の需給がフィリピンは圧倒的に多い。

出所:平成21年被保護者全国一斉調査(厚生労働省)